

令和2年度 事業報告

令和2年度事業計画にもとづき、各事業の実施に努めた。

水道産業界で活動している当連合会会員は、その技術開発、生産活動等を通じて、上下水道・工業用水道の質的向上に努め、我が国の生活環境の改善や都市基盤の整備に大きく貢献している。

令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により事業の中止や事業内容の変更を余儀なくされる事態が多々あったものの、概ね次の諸活動を展開した。

1 政府機関等への要望活動

(1) 令和2年11月24日、公明党上水道・簡易水道整備促進議員懇話会主催による政策要望懇談会が衆議院第一議員会館1階大会議室で開催され、水団連からは宮崎正信専務理事が出席し、広域化やデジタル化の推進支援及び「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金」の適切な活用について要望した。

(2) 令和2年7月29日～30日及び令和3年3月15日、各省庁による次年度予算編成を見据え、正副会長等による要望団を編成し、関係各省に対する要望活動を計画したが、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から事務局による要望書を配布するにとどめた。

(3) その他

① 水道施設整備費等国庫補助事業に係わる工事歩掛の要望

令和2年7月10日、水団連加盟団体から要望があった「工事費の積算。請負工事積算基準。管切断工。既設管撤去工。管路土工。掘削幅の算定」「GX形呼び径450の追加」「電気溶接歩係表(裏当溶接)」に関する歩掛改訂要望について、厚生労働省水道課長に提出した。

② 厚生労働省施工技術調査検討会への意見要望

日 時 令和2年8月20日(木)午後2時

場 所 厚生労働省仮設第4会議室

内 容 ①についての詳細説明

出席者 全国管工事業協同組合連合会、配水用ポリエチレンパイプシステム協会、
(一社)日本ダクタイル鉄管協会、日本水道鋼管協会関係者12名

2 関係団体行事への協賛

例年実施していた各種事業者団体(日本水道協会、日本工業用水協会、日本下水道協会、全国簡易水道協議会並びに全国水道企業団協議会)の各総会及び地方支部総会に対しての協賛事業は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため各総会の開催が書面審査に変更して開催された結果、協賛の受取りを辞退されたため、今年度については見送った。

3 広報宣伝事業の実施

(1) 仙台水道展の順延

例年、日本水道協会全国会議・全国研究発表会に併催して水道展を開催していたが、日本水道協会が新型コロナウイルス感染症の拡大防止を考慮し、当初予定していた仙台市での全国会議・全国研究発表会の開催が翌年に順延となったため、水道展も今年度の開催を中止とし、翌年度に順延することとなった。

(2) 新聞・業界紙広告

年間事業計画に基づき、各種業界紙、関係業界雑誌などに次の広告を掲載した。

□ 広告掲載誌	業界新聞	38回
	業界誌	8回

(3) 機関誌「水団連」の発行

機関誌「水団連」を年4回(1月、4月、7月、10月)発行し、国の関係機関、研究機関のほか、都道府県庁所在地事業体・政令指定都市所在事業体など、主に水道は給水人口、下水道は処理人口、その他工業用水道、企業団は事業規模を勘案し配布した。

※作成部数：毎回2,000部

4 常設カタログ展示場

日本水道会館には、(公社)日本水道協会ほか水道関連団体が入居しており、多くの会議、研修、講演会等が開催され、全国の事業体を含め多数の水道関係者が訪れる。

水団連では、1階に設置した常設カタログ展示場により会員の有する技術・製品情報を展示し、これら来訪者の情報提供を図っている。なお、令和2年度の展示状況は以下のとおりである。

令和2年度の展示状況	□展示会員数	40会員
	□展示ポスト数	45ポスト

5 講演会等の開催

(1) 日 時	令和2年11月19日(木)午後2時
場 所	日本水道会館7階第1～2会議室
内 容	「独占禁止法上注意すべき事業者や事業者団体の活動」
講 師	公正取引委員会経済取引局取引部相談指導室係長 及川 崇氏
出席者	58名(うちWeb参加25名)

- (2) 日 時 令和3年2月18日(木)午前10時
形 式 Web開催
テーマ 令和3年度上・工・下水道関係政府予算(案)を聞く会
「下水道事業予算案」
国土交通省水管理・国土保全局下水道部下水道事業課
企画専門官 山縣 弘樹氏
「工業用水関連予算案」
経済産業省経済産業政策局地域経済産業グループ地域産業基盤整備課
係長 竹中 宏氏
- 参加者 81名

6 施設見学会（中止）

例年開催している施設見学会は、新型コロナウイルス感染症の影響を考慮し、今年度の開催を見送った。

7 上水道基礎専門研修（中止）

例年開催している上水道基礎専門研修は、新型コロナウイルス感染症の影響を考慮し、今年度の開催を見送った。

8 調査事業

水道事業計画と資材需要調査

水道事業の今年度の事業計画及び資材需要を把握するため、厚生労働省の協力を得て調査を実施し、報告書の電子データを会員に提供すると共に、全国の水道事業体へも配布した。

9 情報提供

厚生労働省、国土交通省並びに経済産業省などから入手した通知、資料等について、会員活動に有意義と思われる資料を精査し、メールや水団連ホームページを通じて会員に情報提供を行った。

10 表彰事業

(1) 会長表彰

- 感謝状(30年)3会員、(20年)5会員、(10年)4会員、(退職者)1氏
- 表彰状(役員10年)1氏、(委員10年)2氏、(役員・委員代理10年)1氏

(2) 厚生労働大臣表彰

水道関係功労(令和2年11月9日)

和田正憲氏(株清水合金製作所)

岡部 洋氏(株クボタ)

與三本 毅氏(前水 i n g 株)

舘 隆広氏(株日立製作所)

11 海外協力事業

(1) ISO/TC224 (国際標準化機構技術委員会) への参画

ISO/TC224が定める上下水道サービス事業の国際規格については、(公社)日本水道協会に設置されたISO/TC224上水道国内対策委員会において調整、検討を行っており、本連合会からも委員を派遣し産業界の立場から意見を発信している。

なお、令和2年度のISO/TC224総会他の出席状況(全てWebにて開催)は以下の通り。

①ISO/TC224総会 令和2年6月26日

②WG7 令和2年6月22日、6月23日、11月9日、令和3年3月15日

③WG14 令和2年6月22日、12月8日、令和3年1月19日

④WG15 令和3年3月30日

(2) 第53回国際協力機構(JICA)上水道研修コースの協力

例年5月から約2か月にわたり実施していた国際協力機構(JICA)上水道施設技術総合コースは、新型コロナウイルス感染症の影響により規模を縮小し、令和3年2月1日(月)～5日(金)の5日間、研修生は来日をせずにオンラインによる研修のみとして実施された。

このため例年開催していた研修終了後の歓送会は中止となった。

(3) 第12回IWA世界会議・展示会の順延

令和2年10月にデンマーク王国コペンハーゲン市で開催予定だった第12回IWA世界会議・展示会は、新型コロナウイルス感染症の影響により令和4年9月11日(日)～15日(木)に順延となった。

(4) 第4回アジア・太平洋水サミットの順延

令和2年10月に熊本市で開催予定だった第4回アジア・太平洋水サミットは、新型コロナウイルス感染症の影響により令和4年4月23日(土)～24日(日)に順延となった。

12 新年名刺交換会(中止)

例年開催している日本水道協会・日本下水道協会・日本工業用水協会・全国簡易水道協議会及び当連合会共催の新年名刺交換会(東京・名古屋・大阪)は、新型コロナウイルス感染症の影響を考慮し、今年度の開催は3会場とも中止した。

13 国主催の中央行事等への協賛

(1) 第62回 水道週間

期 間 令和2年6月1日(月)～7日(日)
主 催 厚生労働省、都道府県ほか
スローガン 「飲み水を 未来につなごう ぼくたちで」

(2) 第44回 水の週間中央行事「水を考えるつどい」

※ 例年「水の日」である8月1日頃に開催していたが、新型コロナウイルス感染症の影響を考慮し、11月にWeb配信で開催した

期 日 令和2年11月7日(土)[期間8/1(土)～8/7(金)]

配信方法 You Tube (MLIT channel)

主 催 水循環政策本部、国土交通省、東京都など実行委員会

(3) 子ども霞が関見学デー (中止)

※ 新型コロナウイルス感染症の影響を考慮し、今年度は中止となった

主 催 厚生労働省、経済産業省、国土交通省など26府省庁等の連携

(4) その他の協賛等

① 健康のため水を飲もう推進運動

目 的 「健康のため水を飲んで、熱中症や脳梗塞などの重大な事故から尊い人命を守る」

主 催 「健康のため水を飲もう」推進委員会(委員長＝武藤芳照東京健康リハビリテーション総合研究所長)

後 援 厚生労働省

協 賛 本連合会ほか

② 第62回「水の写真コンテスト」(水道週間協賛事業)

募集期間 令和2年6月1日(月)～9月10日(木)

題 材 水のある風景、水を利用している場面、水道施設または工事風景

主 催 (株)水道産業新聞社

後 援 厚生労働省、本連合会ほか

特別賞 (一社)日本水道工業団体連合会会長賞

③ Japan Home & Building Show 2020

期 間 令和2年11月11日(水)～13日(金)[3日間]

場 所 東京ビッグサイト

主 催 (一社)日本能率協会

後 援 経済産業省、国土交通省

協 賛 本連合会ほか

④ 第15回 再生可能エネルギー世界展示会

期 間 令和2年12月9日(水)～11日(金)[3日間]
場 所 東京ビッグサイト
主 催 (特非)再生可能エネルギー協議会
後 援 経済産業省、環境省、国土交通省ほか
協 賛 本連合会ほか

⑤ InterAqua 2021 第12回水ソリューション総合展

期 間 令和2年12月9日(水)～11日(金)[3日間]
場 所 東京ビッグサイト
主 催 (株)JTBコミュニケーションデザイン
後 援 本連合会ほか

⑥ (一社)スマート水道推進協会主催第5回特別講演会

期 日 令和2年12月22日(火)
形 式 WEB開催
主 催 (一社)スマート水道推進協会
後 援 本連合会

⑦ 2021年度ミス日本「水の天使」

選考日 令和3年3月22日(月)
役 割 生命の豊かさを支える美しい水のための人々の努力と、世界の水インフラの発展に貢献できる日本の素晴らしい経験と技術をわかりやすく伝える
主 催 (一社)ミス日本協会
協 賛 本連合会ほか
受賞者 青山学院大学国際政治経済学部2年嶺百花さん(東京都出身20歳)

⑧ 「下水道展'20 大阪」(順延)

※ 新型コロナウイルス感染症の影響を考慮し、「バーチャル下水道展」を代替開催したがリアル展示会は次年度に順延となった
主 催 (公社)日本下水道協会
後 援 国土交通省、環境省、経済産業省、日本下水道事業団ほか
協 賛 本連合会ほか

⑨ 第12回 シンポジウム「持続可能な水道システムの確立」(中止)

※ 新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響を考慮し、今年度は中止となった
主 催 「持続可能な水道システムの確立」企画委員会(委員長=清塚雅彦(公財)水道技術研究センター常務理事)
後 援 厚生労働省、本連合会ほか

⑩ エコテクノ2020(地球環境ソリューション展&エネルギー先端技術展) (順延)

※ 新型コロナウイルス感染症の影響を考慮し、「オンライン見本市」を代替開催したがリアル展示会は次年度に順延となった

主 催 福岡県、北九州市、(公財)北九州観光コンベンション協会

後 援 国土交通省九州地方整備局、経済産業省九州経済産業局、環境省九州地方環境事務所、本連合会ほか

⑪ 浄水技術研究会第20回講演会 (中止)

※ 新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響を考慮し、今年度は中止となった

主 催 浄水技術研究会

後 援 厚生労働省、本連合会ほか

⑫ い〜い井戸の日 2020 (中止)

※ 新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響を考慮し、今年度は中止となった

主 催 (一社)全国さく井協会

後 援 国土交通省

協 賛 本連合会ほか

14 協議会等への所属状況

(1) (公社)国際厚生事業団

(2) (特非)日本水フォーラム

15 事務局として関わる組織

関東全水道人囲基同好会

※令和2年度の関東全水道人囲基大会は、新型コロナウイルス感染症の影響を考慮し中止した。

16 水団連ホームページによる情報発信

水団連ホームページでは、関係省の施策、予算等の情報提供を行うとともに、水道展関係資料、講演会開催等の周知を図っている。

17 水道の基盤強化他の検討

水団連に設置している各常設委員会では、事業の定型化や休止状態の委員会も生じてきているため、企画委員会の下に「水道の基盤強化支援ワーキング(略称:SKK-WG)」及び5つのサブWGを設置し、活動の活発化や整理統合の可能性について議論を行った結果、「水道の基盤強化支援ワーキング」の報告としてまとまった。

令和3年度では、この報告を受けて事業を実施するとともに、継続案件については常設委員会へ移行し、さらなる検討を進めていくこととする。